

定年後生活の講座始まる 那賀



定年退職後の生活に役立つ知識を学ぶ「那賀ライフ・シフトカレッジ」(那賀町主催)の第1回講座が30日、同町大久保の相生包括ケアセンターであり、60〜90代の町民18人が参加した。

徳島大大学院医歯薬学研究部の白山靖彦教授が「人生100年時代のライフシフト」と題して講義。「技術の進化が急速な現代において、20代で学んだ知識は古い。40歳ごろに学び直したり、仕事を変えたりするといった『ライフシフト』が必要になってくる」と呼び掛けた。

同町延野の大西正博さん(67)は「講義を聞き、楽しみながら暮らすと思った。漠然と生きるのではなく、何

かに取り組みたい」と話した。

講座は来年3月まで毎月開かれ、生前に人生の締めくくりを準備する「終活」や資産運用、遺言などをテーマに専門家が語る。

(大城咲)